



福祉施設を訪ねて

市内には、身体障害者福祉センター、養護老人ホーム、道目木更生園、老人いこいの家など各種の福祉施設があります。私たち広報市民レポーターは、下代野にある特別養護老人ホーム「水交苑」と、餌釣にある身体障害者福祉センターを訪ねてみました。

一人で悩まないで

市民レポーター 野村裕子 (川口)

身体障害者福祉センターに、行ってきました。月曜と水曜は、幼児の集団訓練があるので、一時間見学してきました。ことばのおくれ、発育のおくれのある子どもは、毎週行われてい



子供たちの遊ぶ姿を見ながら石田家庭児童相談員の話聞く野村レポーター(左)

る集団訓練に参加します。年齢は一歳半から五歳までです。訓練は長い子で三年、短い子で半年で卒業し、保育園などに入所します。子どもは、多いときには十五人から二十人になるそうですが、今日は七人でした。

七人の子ともとお母さんに対して、十人の専門家が接しています。十人の内訳は、保母四人、センターの指導員四人、福祉事務所の家庭児童相談員二人です。

訓練室で歌や体操などをした後、お母さんたちは相談室で勉強会、子どもたちは砂遊びをしに外に出て行きます。

今日は、マンツーマンです。すごいなと感じました。やはり、子どもの声は、あまり聞けない。保母たちは、子どもといっしょに、砂遊びをし、話しかけ、どんな小さな声、しぐさもみのがさない。何もいわない子を優しく、だっこしている。

ちいさなシヤベルに
ちよつぱり、すなをいれて、
子どもが、ちかづいてくる。
ちいさな、こえて……
「……これ……」

指導員たちは、大よろこびで、ほめてあげる。

十人の指導員は、ほんとうに優秀な方々です。子どもに心配なことがあったら、市役所の福祉事務所家庭児童相談員へ相談してみてください。

また、このセンターでは、第二、四、金曜日、十時から二時まで県の児童相談所も開かれています。こちらも気軽に相談してほしいとのことでした。

▷身体障害者福祉センター◁

住所——池内字大出83
バス停——餌釣
電話番号——49~0104

▷特別養護老人ホーム「水交苑」◁

住所——下代野字中道南36-1
バス停——天下町入口
電話番号——48~3553

迫り来る高齢化社会の中に、福祉施設の入居者、働く人たちは何を考えているのだろうか、心に描きながら特別養護老人ホーム水交苑を訪ねました。

見学と、施設長さん寮母さんの話を聞きました。水交苑は、家庭で世話をする人のいない六十五歳以上の入居させ、応分の費用負担をするとのこと。窓口は市福祉事務所です。施設は居室二十一のほかに、浴室、食堂、休養室などがあり、寮母さんを中心として働いています。一日中回り続ける洗濯機、休む間もなく働く人、福祉の底辺を支える姿に、胸にこみあげるものがありました。

共に痛みを

特別養護老人ホーム「水交苑」

市民レポーター 秦 震 (鉄砲場)



花田施設長さんの案内で施設を見学する秦レポーター(右)

またこの夏休みには、高校生の宿泊ボランティアが行われることになっており、人の心の痛みを、わが痛みとする若者たちの輪のひろがり期待されます。

最後に聞いた寮母さんのつぶやきに「入居者の涙をうかべながらの感謝のことが、ここに働く私たちの心の支えになっている。また家族のいない老人を見る時、まして死を間近にしたときに、人の世のよさを感ずる」ということばがありました。

防衛費の突出、高度発展のはざまにゆれる福祉、老人を介護したくてもできない家族たちの身を切られるような思いを心に交錯させながら水交苑を後にしました。